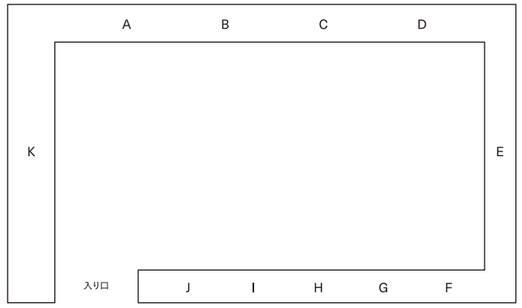
資　料



出品作品リスト

A　東日本大震災・原子力災害伝承館／
東京オリンピック・パラリンピック選手村、2021
The Great East Japan Earthquake and Nuclear Disaster Memorial Museum／
Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Village, 2021

B　皇居前広場／大嘗宮、2019
The Garden Plaza, Imperial Palace/Daijokyu Halls, 2019

C　福島県双葉郡富岡町、2018
Tomioka-machi, Futaba-gun, Fukushima, 2018

D　福島県双葉郡双葉町／東京都港区 高輪ゲートウェイ駅、2021
Futaba-cho, Futaba-gun, Fukushima/Takanawa Gateway Station, 2021

E　長崎原爆資料館／ファットマン、2019
Nagasaki Atomic Bomb Museum/Fat Man, 2019

F　エコパーク水俣A、2019
Ecopark Minamata A, 2019

G　エコパーク水俣B、2019
Ecopark Minamata B, 2019

H　兵庫県神戸市長田区、2014
Nagata-ku, Kobe-shi, Hyogo, 2014

I　島原市平成町 島原復興アリーナ／雲仙岳災害記念館、2019
Shimabara Fukko Arena, Heisei-cho, Shimabara-shi/
Mt. Unzen Disaster Memorial Hall, 2019

J　札幌市中央区 北方領土啓発の広場／新宿駅、2020
Garden to raise public awareness of the Japan-Soviet Northern
Territories dispute, Chuo-ku, Sapporo-shi/Shinjuku Station, 2020

K　東京都区部（東京23区）、2020/2021
Special Wards of Tokyo (23 Special Wards of Tokyo), 2020/2021

クリテリオム98　西澤諭志
会期：2022年2月19日（土）——5月8日（日）
会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー第9室

Criterium 98 Satoshi Nishizawa
February 19 (Sat.)——May 8 (Sun.), 2022
Gallery 9, Contemporary Art Gallery, Art Tower Mito

A,D	東日本大震災・原子力災害伝承館	
	所在地	福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39番
	開館	2020年
主な施設・用途	プロローグシアター、展示エリア（常設・企画）、 ワークショップスペース、研修室、資料閲覧室 等	

福島県双葉郡双葉町にある福島県立の展示施設。2011年に発生した東日本大震災と原子力災害の記録や教訓、災害復興の過程を伝える資料を展示公開している。災害以前の福島の様子から、被災、長期化する避難生活、放射能の影響、復興の取り組みまでを、災害資料の実物や同類品、映像資料等を通して伝える。また、展示に加え、語り部講話や研修プログラムにも取り組んでいる。被災地の地域再生・復興を目指す国の福島国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想の情報発信拠点に位置づけられている。

A	東京オリンピック・パラリンピック選手村	
	所在地	東京都中央区晴海5丁目地内
	利用期間	2020年7月13日—8月11日、8月17日—9月8日
主な施設・用途	居住ゾーン（居住棟21棟のほか食堂、フィットネスセンター、 レクリエーションセンター、総合診療所、発熱外来）、 運営ゾーン（運営機能）、ビレッジプラザ（店舗）、公園 等 （いずれも東京オリンピック・パラリンピック競技大会中）	

東京都中央区晴海にあった複合施設。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会出場選手の宿泊先として一時使用された。同施設に滞在する選手団の交流拠点となった「選手村ビレッジプラザ」には全国63自治体から木材の無償提供を受け、大会終了後解体して各自治体に返却した。現在は、分譲住宅や商業施設から成る複合開発地区「HARUMI FLAG」の一部として利用されるための改修・整備が進んでいる（2024年完成予定）。

B	令和の大嘗宮	
	所在地	東京都千代田区千代田皇居東御苑
	利用期間	2019年11月14・15日大嘗宮の儀／ 2019年11月21日——12月8日一般参観
主な施設・用途	悠紀殿、主基殿、廻立殿、幄舎、斎庫 等	

東京都千代田区皇居東御苑に建てられた皇室行事のための仮設建造物。建物内で令和天皇の即位に伴う祭祀「大嘗祭」（2019年）が行われた。大小約40棟の建屋から成り、その内約30棟の木造部分には長野県産のカラマツをはじめ全国から集められた木材約550立方メートル分が使われた。「大嘗祭」の中心的な儀式である「大嘗宮の儀」が行われた後一般参観を経て取り壊されている。なお、令和の大嘗祭では経費抑制のため平成（1990年）に比して規模の縮小や資材の変更が図られ、また焼却処分されていた資材を分別回収し可能な限り再利用するなど時代の変化に合わせた取り組みも行われた。

C	富岡町対策地域内廃棄物処理施設	
	所在地	福島県双葉郡富岡町大字仏浜、毛萱地区
	稼働期間	2014年3月——2019年8月
主な施設・用途	仮設廃棄物処理施設の設計・施工、 施設の運営、施設の解体 等	

福島県双葉郡富岡町に設置された国の廃棄物処理施設。東日本大震災（2011年）による災害廃棄物、片付けごみ及び除染廃棄物等、避難指示区域内で回収された廃棄物の焼却処理ならびに減容化が行われた。施設は2015年4月に稼働開始、2018年8月で焼却処理を完了した後、現在では建て壊されている。

D	東京都港区高輪ゲートウェイ駅	
	所在地	東京都港区江南2丁目
	利用開始	2020年（暫定開業）
主な施設・用途	JR山手線・京浜東北線各ホーム、無人決済店舗、カフェ 等	

東京都港区港南にある東日本旅客鉄道の地上駅。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあわせて2020年3月に開業した。環境保全技術を積極的に取り入れた「エコステ」のひとつとして、建物に温熱環境の向上や照明電力量の削減が期待される膜材が採用され、建材には東日本大震災で被災した福島県や宮城県の国産木材を使用、また太陽光パネルや小型風力発電機、緑化空間の整備など環境に配慮した技術が導入されている。また、自律移動型ロボットや人工知能を活用した駅案内サイネージなどのサービス機器も試行導入されている。駅機能を2020年に暫定開業したのち「グローバルゲートウェイ品川」として進められている周辺地区の再開発にあわせ2024年本開業予定。

E	長崎原爆資料館	
	所在地	長崎県長崎市平野町7番8号
主な施設・用途	常設展示室、企画展示室、図書室、ビデオコーナー、 ホール、学習室、カフェ 等	

長崎県長崎市にある同市立資料館。主に長崎市への原子力爆弾投下（1945年）に関する資料の収集・展示を行い、核兵器の解説などを通して核兵器廃絶と恒久平和を国内外に向けて訴求している。市民から寄贈された被曝資料も多い。原子爆弾「ファットマン」の原寸大模型の色について2010年に市民から指摘を受け、調査の結果、被曝から70年経った2015年に開館時の濃い緑色を変更し黄色に塗り替えた。同施設は長崎市平和会館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館と隣接しており、周辺には平和公園をはじめ多くの追悼施設がある。

1947年　平和公園原爆落下中心地碑付近に建てられた六角形の平屋作りの建物で原爆資料の展示を開始
1955年　長崎国際文化会館館内に原爆資料展示室として開設
1975年　被爆30周年を記念し、長崎国際文化会館原爆資料センターを開設
1981年　長崎国際文化会館講堂跡地に「平和記念館」開館
1993年　長崎国際文化会館建て替えに伴い、長崎平和会館で原爆資料の仮展示を開始
1996年　建て替え後名称を長崎原爆資料館と改め開館

F,G	エコパーク水俣（水俣広域公園）	
	所在地	熊本県水俣市汐見町1丁目231-12
	利用開始	2007年
主な施設・用途	バラ園、竹林園、道の駅みなまた、親水護岸、 熊本県環境センター 等	

熊本県水俣市にある県営公園。水俣湾の水銀環境汚染（1956年公式確認）に対する公害防止事業（1977～1990年）によって埋立・造成された土地を利用し、水俣市が取り組む地球環境問題の提唱と住民の生活環境の高揚を図って整備された公園である。「環境」と「健康」をテーマに、総面積41.8ヘクタールを4つのゾーンに分けて活用している。

H	兵庫県神戸市長田区	
	所在地	兵庫県神戸市長田区

兵庫県の県庁所在地神戸市の中南部に位置する区。阪神・淡路大震災（1995年）の際、家屋倒壊や大規模火災により甚大な被害を受けた。現在同市内には大小多くの追悼碑や慰霊碑が建立されており、若松公園もそのひとつである。災害発生当時、旧若松公園が商店街と隣接していたことから災害時に多くの被災者の避難場所となり、同地に仮設住宅が建設された。その後震災復興事業において復興のシンボルであるとともに防災拠点にも位置づけられ、同地ゆかりの漫画家・横山光輝氏にちなんだ「鉄人28号」の巨大モニュメント、遊具広場、避難救援拠点の機能も有する防災公園として新たに整備された。

I	島原復興アリーナ（島原市営平成町多目的広場）	
	所在地	長崎県島原市平成町2番地1
	利用開始	2000年
主な施設・用途	メインアリーナ、サブアリーナ、島原市営平成町多目的広場 （芝生広場）、自衛隊のヘリコプター、装甲車、 サムライブルー龍馬像、消防団殉職者慰霊碑 等	

長崎県島原市平成町にある多目的複合施設。雲仙普賢岳災害（1990年発生、1996年終息）からの復興のシンボルであり、慰霊碑や災害関連資料に加え、人工芝グラウンド、総合体育館、イベント・コンベンション機能を有する。また、2010年南アフリカワールドカップの際に東京の国立代々木競技場「サムライブルーパーク」に建てられた「サムライブルー龍馬像」を財団法人日本サッカー協会及びアディダスジャパン株式会社より譲り受け、アリーナ敷地内に設置している。島原は、坂本龍馬が勝海舟とともに長崎を訪れた際、初めて足を踏み入れた地と言われている。

I	雲仙岳災害記念館	
	所在地	長崎県島原市平成町1番地1
	開館	2002年
主な施設・用途	常設展示室、展望ラウンジ、島原半島ユネスコ世界 ジオパーク、情報スペース、カフェ・レストラン 等	

長崎県島原市にある学習観光施設。愛称は「がまだすドーム」。雲仙・普賢岳噴火災害（1990年発生、1996年終息）の被害や教訓を伝え、復興への取り組みを紹介する施設として設置された。国内初の火山に特化した体験学習観光施設であり、CGや大型スクリーンを用いた平成噴火の疑似体験コーナーや、噴火やその長期災害を経験した体験者等のメッセージの展示、実験・ワークショップで火山科学や防災を学ぶ「ワンダーラボ」などを設置している。人々の暮らしに大きく影響を与えてきた雲仙火山を擁するジオパーク「島原半島ジオパーク」の中心的施設として、屋外にもモニュメントや展望ラウンジ、散策道「溶岩の道」などが設置されている。

J	札幌市中央区北方領土啓発の広場	
	所在地	札幌市中央区北3条西6丁目 （北海道庁旧本庁舎前庭内）
	利用開始	1972年
主な施設・用途	公園、碑石 等	

北海道札幌市中央区にある北海道庁旧庁舎の前庭の一区画。北方地域の島々になぞらえた庭石が配置され、シラカバ、千島桜、ナナカマドなどが植樹されている。

J	北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」	
	利用開始	2008年

北方領土問題を説明するイメージキャラクター。

デザイン：松田洋和
文責：後藤桜子（水戸芸術館現代美術センター学芸員）
出典は右記QRコードよりご確認ください。